



基本理念 相手の立場に立つ

令和5年10月発行

111号

協和中央病院グループ広報誌

はぐるま

BLS研修

全職員で取り組む
一次救命処置研修
(5ページに記事掲載)



目次

Good communication って何？
(協和中央病院 院長 黒川徳一) …2

面会制限の継続・
オンライン面会の方法について ……2

リウマチ治療について ……3

管理者変更のお知らせ ……3

患者サポート窓口について ……3

看護部通信 ……4~5

医療技術部通信 ……6

恒徳会だより ……7

外来診療担当医表／編集後記 ……8



グッド・コミュニケーション

Good communicationって何？

協和中央病院
院長 黒川 徳一

胡蝶の夢で有名な『莊子』に、“不将不逆、応面不蔵（オクラズ、ムカエズ、オウジテカクサズ）”という対応の教えがあるそうです。その意味とは、心配事や苦労があっても、それにこだわってくよくよしない、自分から取り越し苦勞をしない、そのうえで何か事が起きたら素早く対応し、やりきったら（その事に）執着せずに忘れてしまえ、ということだそうです。大昔の人の教えなのに、現代人にも通じる奥深さをすごいと感じます。

さて、言うは易く、行うは難し。道理は皆理解できますが、実践はたいへん難しい。

コロナ感染症が長引いて、人との交流の制約を感じさせる中で、対面でのコミュニケーションを取りづらくさせていると痛感します。オンライン会議やメールでの情報交換など、便利になった反面、直接会っ

て教えをいただいたり意思疎通を図る機会が減りました。

話し相手の表情を見つつ、感情の入った言葉や微妙な気持ちの動きなどを察するには、やはり直接対面でのお話が一番良いし、心に残ると思っています。

多くの情報を自分なりの切り口で整理して生活や仕事に役立てるには、自分の立場、ものの見方・価値観が基本になります。そこをぶれないように、そのうえで相手の立場に立って考えてみる、そして双方がよりよい行動につなげられるようにしたい。一人ひとりが工夫してよいコミュニケーションが取れるようにしていきたいですね。

いろいろな価値観をもって頑張っている人がたくさんおられます。お互いの多様性を尊重しあって、頑張っていきましょう。



面会制限の継続について

入院している患者様にとって、大切なご家族との面会の時間は、安心感をもたらす、病氣と闘う大きな支えになるため、可能な限りその機会が提供できることが望ましい

と考えております。現在はオンラインのみの面会となっておりますが、状況を見ながら徐々にではありますが緩和を検討しております。ご不自由をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

オンライン面会の方法



オンライン面会については、当院の面会室においてタブレット越しで面会を行う来院面会と、ご家族がお持ちのスマートフォン等と病院のタブレットをLINEでつなぎ、LINEのビデオ通話を用いて面会を行うリモート面会があります。どちらも事前予約が必要となりますので、ご利用の際は下記の予約電話番号よりご予約をお願いいたします。

オンライン面会 予約時間

月・火・木・金曜日 午前10時から午後3時
予約電話番号 0296-57-7204

オンライン面会時間

月・火・木・金曜日 午後3時から午後5時

*水・土曜日および日祭日は除きます。

*面会時間は5分程度でお願いいたします。

*面会は1週間に1回程度とさせていただきます。

担当 協和中央病院 システム課 副課長 深谷 郁雄



リウマチ治療について

協和中央病院
診療部 内科
高村 雄太



関節リウマチの日本での有病率は0.5～1.0%で、約70～90万人の患者さんがいると推計されています。患者数が多い疾患ですが、皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか？今回はリウマチという病気の特徴や、ここまでの日本のリウマチ治療の歴史を少しお話ししたいと思います。

リウマチという病気について、関節が腫れる、変形するというイメージは何となく皆さん持っていると思います。その通り。関節の病気であることは間違いありません。しかしその根本の原因は自分の免疫細胞が自分の関節を攻撃してしまうところにあります。ですが、どうして免疫細胞が自分の関節を攻撃してしまうのか、その原因は現在も不明でありそこへの治療介入はできていません。ですので治療の中心は関節を攻撃する免疫細胞を抑える「免疫抑制剤」になります。

ここでそのリウマチに関与する免疫細胞を「悪い」免疫細胞とします。しかし治療に使用する免疫抑制剤は悪い免疫細胞のみでなく、正常な免疫細胞の活動もある程度抑制してしまいます。これが治療の副作用ということになります。薬によって効果、副作用はさまざまであるため、治療の際にはどちらに対しても配慮が必要となります。

リウマチの進行を抑制できる飲み薬が出てきたのは20年ほど前からです。それまでは有効な治療薬はほとんどなく、痛み止めや変形した関節の手術が主な治療でした。そのためリウマチを診ていたのは主に整形外科の先生でした。

その後、関節の破壊に関与する免疫細胞が徐々に明らかになり、それらを標的とした免疫抑制剤が発売されるようになりました。今までの治療で効果のなかった患者さんも症状を抑えられるようになりましたが、その一方で免疫抑制剤による副作用や合併症等、内科的なアプローチが必要な場面も増えてきました。治療も内科と整形外科の先生が連携して行うことが増えてきています。

最近リウマチを内科で診るようになったのはこうした背景があるということです。残念ながら一度変形してしまった関節は治療をしても元には戻りません。ですので関節リウマチはいかに早く見つけて治療するかが重要です。関節の腫れや痛みが気になる際にはご相談ください。

リウマチ外来：毎週金曜日 午前

管理者変更のお知らせ

令和5年9月1日付

協和ヘルシーセンター 施設長 中原 昇

(協和中央病院 脳外科外来は、8月31日をもちまして終了となりました)

患者サポート窓口について

協和中央病院
事務長 大木 武彦

今年3月に眼科を閉科せざるを得ない状況となり、患者様には大変なご不便をおかけし、またご理解とご協力をしていただき、ありがとうございました。当院といたしましては、患者様にお役に立てることは何かないかと考え、前眼科診察室を患者サポートブースへと改修工事を行いました。患者様が安心して療養生活や社会復帰が早期にできるように、地域医療連携室・医療福祉支援相談室(居宅介護支援事業所)・医事課入院を合わせたブースを患者サポート窓口として設置しました。今後、入院に関するサポート体制を構築し、不安のない療養生活を送れるよう取り組みを進めております。

看護の日

協和中央病院 外来看護科
看護主任 日向 純枝



5月12日は「看護の日」です。ナイチンゲールの誕生日に由来し、看護の心・ケアの心・助け合いの心を誰もが育むきっかけとなるよう制定されました。私たちは、皆様に看護の日を知っていただきたく、来院された患者様にグッズを配布するイベントを行いました。看護の日をより多くの方に知っていただく機会になったと思います。今後も地域の皆様に看護への理解や想いを伝えていき、寄り添った看護を行っていきたいと思います。



看護補助者研修を行いました

協和中央病院 新館2階病棟
看護副係長 若林 千晴

看護補助者は看護チームの一員として主に患者さんの介護や看護師のサポートを行っており、非常に重要な役割を担っております。今年度も7月に看護係長を中心に、安全な看護補助業務を遂行するための必要な知識や技術を習得する研修を行い、ともに学びを深めることができました。当院では、これからも看護師と看護補助者が協働し、看護の質向上に努めていきたいと思っております。



動画講義



車いす移乗



オムツ交換感染対策の実践



手指衛生

高校生一日看護体験

協和中央病院 手術看護科
看護師長 大和田 和美

茨城県看護協会主催の「高校生一日看護体験」20名を受け入れました。始めに院内を回り、放射線技師や薬剤師、栄養士など院内で働く多職種の話聞き、チーム医療に触れ、職業選択について考える機会となりました。病棟では、患者さんへの声かけや生徒同士での血圧測定、車いすの移送やベッドメイキングなどの看護体験をし、手術室では、手洗いやガウンテクニックを体験しました。終了時には「大変だけどやりがいがあるのがわかった」「看護師になりたい気持ちが強くなった」との言葉も聞かれ、私達も高校生から元気をもらいました。今後も充実した看護体験が実施できるよう環境を整えていきたいと思ひます。



ガウンテクニック



上腕動脈触知



血圧測定



BLS研修

医療安全管理室
専従リスクマネジャー 鈴木 博乃

今年度のBLS(一次救命処置: Basic Life Support)院内研修は、6/14・15・19の3日間の日程で行い322名が参加しました。全職員を対象に医療従事者として正しい知識を学び、迅速に対応できるように訓練を行い、職員のスキルアップになりました。災害や救急など「もしも…」の場面に、職員全員が迅速に対応できるよう患者さんの安全確保のため、この学びを生かしていきたいと思ひます。

*BLS研修の写真を表紙に掲載しています。

茨城県看護協会通常総会で2名が表彰

令和5年度 公益社団法人 茨城県看護協会通常総会(6月16日)にて表彰が行われました。



茨城県優良看護職員知事表彰受賞者

社会医療法人恒貴会
訪問看護ステーション 愛美園
所長
副看護部長 中島 由美子



茨城県看護協会会長表彰受賞者

社会医療法人恒貴会 協和中央病院
副看護部長 外来看護師長
皮膚・排泄ケア認定看護師
海老原 安子

栄養管理科が8月1日より 新体制となりました!

協和中央病院
栄養管理科
主任 石戸 利幸



給食管理業務については、今まで直営で運用してまいりましたが、8月1日から給食委託会社のエームサービス株式会社に給食管理業務を委託し、給食委託会社の職員と協働し、栄養指示量に基づいた食事を安全に提供しています。入院中においしい食事を召し上がっていただけるよう、献立内容の変更や見直しを随時行っています。

栄養管理業務については、現在管理栄養士4名が在籍し、入院中は医師や看護師、管理栄養士が栄養管理を行っております。病気を治療していく中で、食事の形態が合わないことや食欲不振などの問題が発生することがありますが、管理栄養士が食べることを阻害している原因を探り、患者様の病態や嗜好、食欲の有無に応じて食事量や硬さ、大きさなどを調整・提案し、栄養が取れるよう努めています。

栄養コラム

つついとおいしいものを食べ過ぎてしまう秋の季節がやってきました。

皆さんは、秋の味覚といったらどんな食べ物を想像しますか? 秋は「食欲の秋」といわれるほど、おいしい食材が豊富な季節です。秋の食材は、夏の暑さで弱った胃腸を回復してくれます。

「秋の味覚」と「運動」についてご紹介いたします。



秋刀魚

動脈硬化や血栓予防、生活習慣病予防にも役立つDHAやEPAを含んでいます。体内で作れないため、積極的に取りましょう。



柿

1個で一日分のビタミンCの量をクリアできるほど多く含まれています。免疫力低下を予防してくれます。



きのこ類

食物繊維が豊富に含まれています。脂質をエネルギーに変える際に必要なビタミンB2が含まれています。



栗

渋皮には抗酸化作用のあるポリフェノール的一种、タンニンも多く含まれています。イモ類よりもエネルギーが取れます。

食べ過ぎた方や運動をしている方、これから運動を始める方は必見です。

運動は有酸素運動を30分以上行うと体脂肪の減少に効果があるといわれています。

有酸素運動



ごはん1杯を消費するのにかかる運動時間(目安)をご紹介します。

1杯(150g)の250kcal

ジョギング約35分、自転車約30分、階段上る約60分

※体重60kgの場合 改訂版身体活動のメッツ表より。

無理のない範囲で体を動かして健康を保ちましょう。

管理栄養士による食事相談を外来でも行っております。食事相談をご希望の方は、主治医までご相談ください。

希望外出が再開されました

新型コロナウイルス感染対策が始まり自粛生活が続いておりましたが、コロナウイルス感染症は今年5月8日より「5類感染症」と分類されて感染対策も緩和され、実に3年ぶりに希望外出が再開されました。

私が入社してすぐに希望外出は自粛されたため、今回は初めての外出付き添いでした。利用者様も久しぶりの外出であるため



行きたい場所がたくさんあり、計画を立てる際に苦労しましたが、打ち合わせからすごく楽しみなご様子でした。今回は宇都宮インターパークで、利用者様が大好きな天井を食べて両手いっぱい買い物袋を抱えて帰ると「自分で見て手に取って選べるっていいな」と満面の笑みで話され、私自身とてもうれしく良い経験となりました。

すみれ園



生活支援員
内田 あゆみ

桃香園

生活介護の夏祭り



サービス管理
課長補佐
弓削 敏彦

通所生活介護事業では、今年も「夏祭り」を開催しました。お祭りの雰囲気を楽しんでいただこうと「千本引き」「射的」「スーパーボールすくい」などの屋台作り、提灯などの飾りは利用者様と日常の創作活動で作成し、準備を進めました。

屋台の景品には、駄菓子や日用品、お菓子の詰め合わせ（大袋）など、バラエティーに富んだ景品を用意しました。

お祭りの雰囲気でも気分も上がり、目当ての景品を獲得するべく、真剣な表情で挑戦している様子や、景品が当たり喜ぶ姿などが見られ、童心に帰りひと夏の思い出を過ごしていただけたかと思います。



利用者様の笑顔が見たくて



「やった! 釣れた!」デイルームに歓声が響きました。感染症対策のため、コロナ禍の最中には個別プログラムを主に行っていましたが、今年の春から徐々に集団プログラムを再開しています。

また、利用者様の要望により、定期的にパン作りや職員による手打ちそばなどを行っています。目の前で行う食べ物のパフォーマンスは人気があります。

外出が難しい利用者様に少しでも楽しんでいただきたく、最近では夏祭り風の縁日週間で、射的や輪投げ、魚釣りなどを実施しました。これからも利用者様の笑顔を見るためのお手伝いをしていきたいと思っております。

恒幸園



デイサービスセンター
生活相談課長補佐
上野 公一



外来診療担当医表 令和5年10月

() 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	五味	黒川	黒川	第1、3、5 黒川	長	黒川
		2		長		第2、4 手塚	大城	第1、3 自治医大
		3						第2、4、5 長
●水・土曜日の脳外科は予約と紹介患者様のみとさせていただきますのでご了承ください。								
外科	午前	1	高坂	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
		2	宮原	宮原	高坂	宮原	高坂	高坂
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	高村	海老澤 (漢方外来)	担当医
		2	正和 (循環器)	阿治部 (消化器)	木村	井上 (循環器)	磯田	種ヶ島
		3	福島	磯田	阿部田	福島	加藤(夏) (内分泌内科/糖尿病)	(予約)新保 (循環器内科)
		5	岡田 (内分泌内科/糖尿病)	北川 (循環器)	磯田	阿治部 (消化器)	高村 (リウマチ)	
	午後 (予約のみ)	7	小林 (呼吸器)	佐多 (呼吸器)	川崎 (呼吸器)	佐多 (呼吸器)		
		1		北川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	加藤(夏) (内分泌内科/糖尿病)	
		2	清水 (循環器内科)					
3	岡田 (内分泌内科/糖尿病)							
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
専門外来	午後			加藤(土) (漢方専門外来)				
小児科	午前	1	(予約) 中原	(予約) 長尾		(新患予約) 中原	(予約) 中原	自治医大交代制
		2		(予約) 中原				第1 (予約) 中原
	午後	1	(予約) 中原			(予約) 中原		
		2	石川					
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
痛みの外来	午前			(予約) 佐藤				
皮膚科	午前・午後		本郷			高橋		
泌尿器科	午前		別納	中村	神原			
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2	大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土肥	尾田・土肥交代制
		3	尾田	佐藤	杉浦	佐藤	佐藤	佐藤
		5			佐藤	第1、3 仙名		
	午後	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	
		2	大谷津	大谷津	杉浦	大谷津	土肥	
		3	第1、3、5 尾田	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	
5	第2、4 佐瀬							
専門外来	午前	1	第3 野口			第1、3 森		

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》

皮膚科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00
 内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00
 小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

*小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 リハビリテーション科・麻酔科
 歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail: kyowa@kokikai.com



協和南病院

療養病床
 茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail: minami@kokikai.com



協和ヘルシーセンター

介護老人保健施設
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail: healthy@kokikai.com



大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail: yamato@kokikai.com



愛美園

訪問看護ステーション
 茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設 すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp



障害者支援施設 桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp



新型特別養護老人ホーム 恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

暦の上では秋を迎え、暑さも幾分和らいで過ごしやすくなってまいりました。コロナの流行による生活制限も5類移行に伴い落ち着きを見せ、今年は久しぶりのレジャーや観光を楽しまれている方も多いでしょうか。感染症には気を配りつつも、以前のように生活に楽しみを見だしていくことはとても大切だと感じております。それもまた健康であればこそと思いますので、病院が皆様の健康面への支えとなるよう頑張ってまいりたいと思います。(高松)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者/長山辰治
 ●編集委員/相澤明美 飯泉茂徳 杉田恵美子
 野村正浩 高松紀平/安達弘毅 廣瀬俊樹